

2026

共通テスト 同傾向の問題



歴史総合

阪神・淡路大震災と東日本大震災

共通テスト

第1問 問7

問7 3班は、被災地で歴史資料の保全活動を行う民間団体(史料ネット)があることを知り、民間団体と政府の動きを表2にまとめた。表2中の空欄[オ]・[カ]に入る語句の組合せあ・いと、表2から読み取れる事柄X・Yについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。[108]

表2

1995年	[オ] 発生。その被災地で史料ネットが結成され、国などから指定を受けていない文化財を含む歴史資料を保全。
2003年	宮城県北部地震発生。宮城県で史料ネット結成。
2004年	内閣府等の検討委員会が、まとめで文化財の保全に言及。新潟県中越地震発生。新潟県で史料ネット結成。
2005年	岡山県で史料ネット結成。
2010年	福島県で史料ネット結成。
2011年	[カ] 発生。その被災地で史料ネット結成。
2012年	徳島県で史料ネット結成。

「災害から文化遺産と地域をまもる検討委員会」まとめの内容(一部) ◀

保全対象の文化遺産は、世界遺産、国宝、重要文化財等の指定されたものだけでなく、未指定の文化遺産も含め地域の核となるようなものとする。

[オ]・[カ]に入る語句の組合せ

あ オー阪神・淡路大震災 カー東日本大震災
い オー東日本大震災 カー阪神・淡路大震災

表2から読み取れる事柄

X 史料ネットはいずれも、大きな震災で被害が発生した年に結成された。
Y 民間団体と政府のそれぞれで、指定の有無にかかわらず、地域の文化財を保全する動きが見られた。

① あーX ② あーY ③ いーX ④ いーY

河合塾

第1回 全統共通テスト模試 歴史総合 第2問 問8

問8 リカルドさんのグループは、訪日外国人数が実際に1,000万人を超えたのは、小泉首相の目標より遅れて2013年であったことに注目し、グラフを見ると、訪日外国人数は、2013年に先立つ5年間で2度大きく減少していることに気付いた。その上で、これらの減少が1,000万人到達の時期を遅らせたと推測し、その減少にはそれぞれ世界的な出来事と日本国内の出来事のいずれかが関係していると考えた。減少の主な要因として考えられる世界的な出来事あ・いと、日本国内の出来事X・Yについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。[17]

世界的な出来事

あ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界的に流行した。
い リーマン・ショックと呼ばれる世界的な金融危機が起こった。

日本国内の出来事

X 阪神・淡路大震災
Y 東京電力福島第一原子力発電所の事故

① あーX ② あーY ③ いーX ④ いーY

ともに日本における大きな震災（阪神・淡路、東日本）が起こった時期とその前後にどのような出来事が起きたのかを問うている。模試を受けた受験生がこれを復習していれば、2011年に発生した[カ]は東日本大震災であり、残る[オ]が阪神・淡路大震災であることが容易に判断でき、X・Yの選択は、知識がなくとも表などから読み取ることができるので、この問題に正解できるであろう。